電気料金に与える影響つきまして

①電気料金の計算方法

燃料費調整単価は毎月変動し
昨年比で上昇。影響が大きい

基本料金※1 または 最低料金※2 ＋ 電力プラン単価 × 電力使用量 ＋ 燃料費調整単価 × 電力使用量 ＋ 再生可能エネルギー発電促進賦課金 × 電力使用量

・電力プラン単価は1～3段階になっており、段階ごとに単価が上がります。
・使用量が段階を超えると単価が上昇しますので、使用量に比例せずに料金は上昇します。
・D-roomでんきの各プラン料金は、地域の電力会社の規制料金と同じ水準で提供しています。

②燃料費調整単価とは

火力燃料（原油・ＬＮＧ・石炭）の価格変動を電気料金に迅速に反映させるため、
その変動に応じて、毎月自動的に電気料金を調整する制度です。

直近3カ月の今年度と昨年度の推移

・表中右端の項目が、同じ使用量で昨年と比べた料金の影響額です。

エリア別燃料費調整単価

提供エリア	最低料金	2021年 2月	2021年 3月	2021年 **4月**	2022年 2月	2022年 3月	2022年 **4月**	**2022年4月の前年比較**	例）使用量300kWhの場合の燃料調整費**増加額**
北海道		-3.45	-3.49	-3.33	0.63	1.16	1.40	4.73	**1,419**
東北		-3.03	-2.85	-2.48	1.83	2.67	3.05	5.53	**1,659**
東京		-5.17	-4.85	-4.32	0.74	1.83	2.27	6.59	**1,977**
中部		-6.17	-5.80	-5.24	-0.44	0.68	1.17	6.41	**1,923**
北陸		-1.05	-1.06	-0.95	1.77	1.77	1.77	2.72	**816**
関西	最低料金分(15kWhまで)	-25.00	-22.03	-17.33	30.44	33.66	33.66	50.99	**1,020**
	15kWh超 1kWh につき	-1.67	-1.47	-1.16	2.03	2.24	2.24	3.40	
中国	最低料金分(15kWhまで)	-36.43	-34.96	-30.91	37.90	49.31	54.83	85.74	**1,713**
	15kWh超 1kWh につき	-2.43	-2.33	-2.06	2.52	3.28	3.65	5.71	
四国	最低料金分(11kWhまで)	-21.76	-21.54	-19.82	20.03	25.85	28.00	47.82	**1,305**
	11kWh超 1kWh につき	-1.98	-1.96	-1.80	1.82	2.35	2.55	4.35	
九州		-1.87	-1.77	-1.61	0.89	1.34	1.57	3.18	**954**

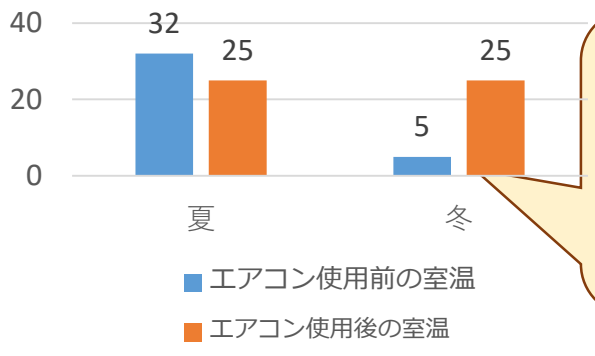
※表記載の数値はkWh当り。金額の単位は円で消費税相当額を含みます。
※提供エリアはD-roomでんきのプラン名称の地域名と同じです。
※九州エリアは、離島ユニバーサル調整額（2021年は-0.07、2022年2月3月は0.01、同年4月は0.02）を含みます。

③再生可能エネルギー発電促進賦課金とは

再生可能エネルギーの買取りに要する費用は、全国一律の単価により、電気のご使用量に
応じた賦課金として、電気をお使いになるお客さまにご負担いただいております。

・価格は経済産業大臣により毎年度定められ5月～4月を同一年度として適用され、5月検針から新年度分となります。
・2020年度の単価が2.98円/kWhに対して、2021年度は3.36円/kWhと0.38円/kWh増加しており、使用量300kWhの同一量で比較した場合、昨年比で114円の影響があります。

④冬季の電気料金への影響・・エアコンの例



たとえば夏、外気温が32℃でエアコンの設定温度を25℃とした場合、その差は7℃。一方、冬で外気温が5℃のとき、設定温度を25℃とした場合**20℃もの温度差が発生**します。
冬は外気温との差がより大きくなるので、**設定温度に達するまで時間がかかり、よりエネルギーを使うため**、消費電力が上がるとされています。

【注釈】
※1基本料金：電力会社が契約プランごとに設定した固定料金です。
電力をまったく使わなかったとしても、基本料金が発生します。
※2最低料金：電力を少量しか使わなかったとしても発生する固定料金のことです。